



Yokohama Arts Foundation

令和4年9月8日
(公財)横浜市芸術文化振興財団
大佛次郎記念館

「JAZZが聞こえる 大佛次郎の昭和モダン」展 開幕

ホテル、ダンスホール、デパート…当時を色濃く写す大佛次郎の《現代小説》

横浜・港の見える丘公園の大佛次郎記念館では、大佛次郎(1897-1973)による昭和初期、戦前の横浜・東京を舞台とする《現代小説》と、大佛次郎と西子夫妻のモダンなライフスタイルを紹介する展覧会を、開催しています。

大佛次郎が新聞紙上で、現代小説「白い姉」を発表したのは1931年のことです。以来、「佛蘭西人形」(1932年)、「夜の真珠」(1934年)から「明るい仲間」(1941年)にいたるまで、ほぼ連載と同時期の日本社会を舞台とするこれらの作品には、当時仕事場としていた横浜のホテルニューグランドや、哀愁漂うダンスホール、マスコットという名の馴染みのバーなどでの、数々のダンスや音楽シーンが登場します。



河野通勢・画 大佛次郎「佛蘭西人形」
第39回連載挿絵より

モダンライフの先駆けとなったものがダンスであり、ジャズはこのダンスのための音楽として広がりました。

作中では「ジャズ」は、単なる風俗を表すだけでなく、登場人物の心を映し出す小道具として、数多く描かれています。当時の「ジャズ」とはどんな音楽だったのでしょうか。ラジオやレコードから流れ、ダンスや映画音楽に使われ、独特のリズムと親しみやすいメロディでせまってくる、このアメリカ生まれの音楽は、人々を瞬く間に魅了しました。



鎌倉ロッヂでの「巴里会」に
出席する大佛次郎(1935年頃)

本展では、昭和初期(1920年代後半-1940年頃)の文化を象徴した「ジャズ」を手がかりに、大佛次郎の《現代小説》から、大佛がとらえた「モダン」が何かを探りつつ、大佛次郎が元女優の西子夫人と過ごしたモダンライフを、愛蔵のSPレコードや、当時の雰囲気あふれる写真、初公開のドレス等、貴重な資料とともに紹介します。



西子夫人のドレス
(1936年頃)

【大佛次郎の聞いたJAZZ】展示会期中、ギャラリーに隣接する大佛次郎の書斎兼寝室を模した記念室では大佛愛蔵のSPレコードから取り出した、二村定一「白帆の歌」やジョセフィン・ベイカー「ダンス狂ひ」など、当時のジャズを、BGMとしてお楽しみいただけます。

横浜音祭り2022パートナー事業

横濱 JAZZ PROMENADE 2022 ジャズプロ・サテライト

展示会期	2022年9月3日(土)～12月25日(日)	料金	観覧料 大人(高校生以上)200円 中学生以下 無料 ※横浜市内在住の65歳以上の方は100円 ※毎月23日「市民の読書の日」と、第2・第4土曜日は高校生無料 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料
開館時間	9月 10:00～17:30(入館は17:00まで) 10月～10:00～17:00(入館は16:30まで)		
休館日	月曜日(祝休日の場合は翌平日)		

※当展覧会の情報掲載をよろしくお願ひします。取材の際は事前にご一報ください。広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先

大佛次郎記念館【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】

館長:福富潤子 展示担当:安川篤子 広報担当:大房奈央子 TEL:045-622-5002 Mail:osaragi@yaf.or.jp

ジャズでつながる横浜の街！
ミュージアムプロ・サテライト

JAZZが聞こえる

大佛次郎の 昭和モダン

2022.9/3sat → 12/25sun

開館時間/9月 10:00~17:30(最終入館17:00) 10月~ 10:00~17:00(最終入館16:30)

休館日/毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)

観覧料/一般 200円 中学生以下無料 20名以上の団体は150円

*横浜市内在住の65歳以上の方は100円。(濱ともカード等をご提示ください)

*障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。

*毎月23日(市民の読書の日)と第2、第4土曜日は高校生無料。



EXHIBITION



おさらぎ じろう きねん かん

大佛次郎記念館 (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)
The Osaragi Jiro Memorial Museum

〒231-0862 横浜市中区山手町113(港の見える丘公園内)

TEL:045-622-5002 FAX:045-622-5071 <http://osaragi.yafjp.org>

協賛:株式会社浦辺設計/大佛次郎研究会/株式会社ボンパドル/横浜高速鉄道株式会社
後援:横浜アーツフェスティバル実行委員会 文化庁「ARTS for the future! 2」補助対象事業
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、予定を変更する場合がございます。



横浜音祭り

ARTS for the future! 2



JAZZが聞こえる 大佛次郎の昭和モダン

2022.9/3sat → 12/25sun

本展は、作家大佛次郎(1897-1973)による昭和初期、戦前の横浜・東京を舞台とする《現代小説》と、大佛次郎と西子夫妻のモダンなライフスタイルを紹介する展覧会です。とりわけ、作中にも頻繁に登場するJAZZが聞こえる場所を手掛かりに、都市の文化として花開き、大佛夫妻が謳歌した“昭和モダン”をたどっていきます。



西子夫人のドレス
1936年(昭和11)頃



巴里会出席の折の大佛夫妻(写真左:左から岩田専太郎夫人、西子夫人、久米正雄夫人、今日出海/写真右:大佛次郎) 1935年(昭和10)頃



大佛次郎『樹水』1935年(昭和10)、新小説社 装幀:矢島堅士

講演会「ジャズで語ろう! 大佛次郎の昭和モダン」

(横浜音祭り2022共催)

昭和初期のジャズが、モダニズムや当時の世相とどのように関わっていたかを考えます。

【講師】上田誠二(日本女子大学人間社会学部現代社会学科准教授)

【日時】10/30(日) 14:00~15:40(予定)

【会場】神奈川近代文学館 中会議室

【チケット】800円(自由席・当日精算)

9月3日より当館窓口、電話、HP申込フォームにて受付開始

【共催】横浜アーツフェスティバル実行委員会

【後援】県立神奈川近代文学館/公益財団法人神奈川文学振興会

トークイベント「大佛次郎のモダンライフ-鎌倉の家-」

動画と図面に見る建築の特徴と生活様式を語ります。

【出演】水沼淑子(関東学院大学名誉教授)、

越智英夫(越智英夫建築設計事務所代表)

【日時】12/4(日) 14:00~15:15(予定)

【会場】2階サロン

【参加費】無料(要観覧料・事前申込制・定員20名)

11月1日よりHP申込フォームにて受付開始

【協力】よこはま洋館付き住宅を考える会

蓄音機で楽しむ昭和のしらべ

~大佛SPレコードコレクションを中心に

手巻き蓄音機で大佛が聴いたであろう音を

お楽しみください。(大佛旧蔵以外のレコードも鑑賞します)

ガーシュウィン作曲 ラプソディ・イン・ブルー

(ポール・ホワイトマンオーケストラ演奏)ほか

【ナビゲーター】山本久子

【日時】10/1(土)、11/5(土)、12/3(土)

14:00~15:00

【会場】2階サロン

【参加費】無料(要観覧料・事前予約不要)

※各事業の詳細は、
当館HPにてご確認ください。

記念室から流れる 「大佛次郎の 聞いたJAZZ」

大佛旧蔵SPレコードのデジタル音源をBGMとして公開。

パネル展示 「横浜山手に暮らす人々 ~昭和のはじめ」

【展示期間】9/21(水)~12/25(日)

【会場】1階ロビー

【協力】特定非営利活動法人

横浜山手アーカイブス

ピコリキュールの

ごほうびサフラン

大佛次郎がホテルニューグランドで

飲んでいたピコリキュールの

モダンな風味とクリームとのハーモニー。

【販売】ボンパドウル元町本店 限定

【期間】11月販売予定

【価格】324円

Happy birthday

10/9(日)は、
大佛次郎の
125回目の誕生日
展示観覧者
当日先着125名様に
ポストカード
プレゼント!

展示解説 事前申し込み制、お申込みはHPより

【展示解説】

第2土曜日 14:00~

約30分

9/10、10/8、

11/12、12/10

【たてもの

ミニ・ミニトーク】

第3土曜日 14:00~

約15分

9/17、10/15、

11/19、12/17

次回展示 予告

1月6日(金)~4月16日(日)

大佛次郎記念館

所蔵美術品展(仮)

同時開催 「大佛次郎×
ねご写真展2023」



電車

- みなとみらい線(東急東横線直通)で:元町・中華街駅下車(元町方面改札)/6番出口(駅直結のエレベーター・エスカレーターを利用、アメリカ山公園経由)/5番出口(谷戸坂経由)いずれも徒歩8分
- JR根岸線で:石川町駅下車(元町口)徒歩20分

バス

- 神奈川中央交通バス11系統(桜木町駅~保土ヶ谷駅東口)
- 市営バス20系統(山手駅~桜木町駅)
- 観光スポット周遊バス「あかいくつ」いずれも港の見える丘公園前で下車、徒歩2分

大佛次郎記念館

〒231-0862 横浜市中区山手町113(港の見える丘公園内)
TEL:045-622-5002 FAX:045-622-5071 <http://osaragi.yafjp.org>